

取扱説明書 Ver 2.00

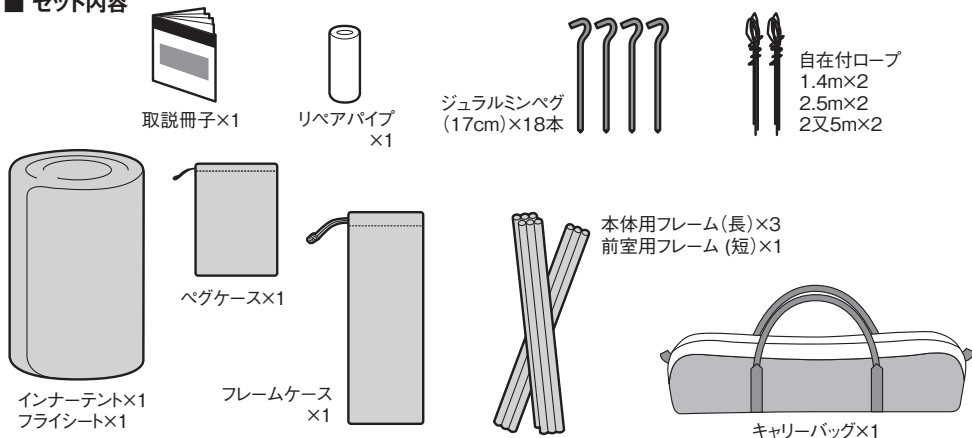
SDE-001RH

アメニティドームM



この度は、スノーピーク製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本製品は、キャンプ用のテントです。安全にご使用いただくためにも下記の取扱説明書をよく読んでからご使用ください。また、読み終わった後も大切に保管してください。説明内容で理解出来ない点及び製品に不具合が確認された際には直ちに使用を中止しご購入いただきました販売店様もしくは弊社ユーザーサービスまでお問い合わせください。

■ セット内容



セット内容は一般的な条件下での設営を基本としたものです。頑丈で長めのペグや、ロープなどを用意されると、柔軟な対応が可能となります。ペグやロープ、自在などは消耗品ですので、常に予備を携帯することをお勧めします。

● 部分名称



※前室メインドアをはね上げて使用する際は別途、ポール・ロープ、ペグをご用意ください。

ご使用の前に よく読んで予測される事故を回避し安全にご使用ください。

⚠ 危険 明らかに生命にかかわる重大な事故が予測される行為を示します。

⚠ 警告 場合により重大な事故に至る行為を示します。

⚠ 注意 ケガや本体破損、物品破損として拡大損害の原因となる行為を示します。

取扱上の注意

⚠ 危険 明らかに生命にかかわる重大な事故が予測される行為を示します。

- テント内では燃焼式のランタンやコンロ、ヒーターなどの熱源や、マッチ、ローソク、ライター、タバコなどの裸火や炎は絶対に使用しないでください。限られた空間での火気の使用は火災の恐れがあり大変危険です。
- テント内で燃料を保管したり、燃料を補給するなど、引火性のあるものを持ち込まないでください。



⚠ 警告 場合により重大な事故に至る行為を示します。

- ご使用の前に、本製品を点検し各部に異常がないことを確認してください。異常が発見された場合は、直ちに使用を中止しお買い求めいただいた販売店様、または弊社ユーザーサービス係に点検または修理を依頼してください。
- 気象状況には常に細心の注意を払い、風の強いときや悪天候が予想されるときは速やかにキャンプを中止して安全な場所へ避難してください。
- 高温に加熱されたものや発熱性のあるものを持ち込まないでください。天候によりテント内は高温になり、熱中症などの危険があります。お子様の昼寝の際など、細心の注意を払ってください。
- 風の吹き抜けるような場所や、雪崩、がけ崩れ、急な出水などの恐れのない地盤のしっかりとした、水はけの良い平坦な場所を選んで設営してください。



⚠ 注意 ケガや本体破損、物品破損として拡大損害の原因となる行為を示します。

- 本製品は常設用ではありません。
- 日差しにより本体表面は低温やけどに発展するほどの高温になります。十分ご注意ください。
- たき火や花火などのそばで組み立てたり、使用しないでください。火の粉を被り、生地に穴を開けてしまう場合があります。
- テントの設営・撤収の際は、風に飛ばされないようフレームをしっかり支えて作業してください。フレーム先端のハネ返しなどで思わぬ事故に繋がる恐れがありますので必ず周囲の安全を確認してください。
- ベグや張り綱でしっかりと固定して使用してください。
- テント素材は長時間日光にさらされた場合、退色や生地劣化などの強度低下を起こしますので、常設用として使用しないでください。

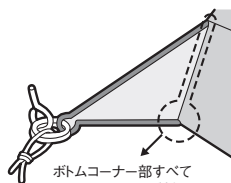
使用前の準備

初めてお使いになる前に

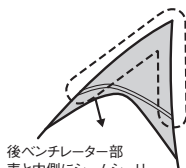
品質には万全を期しておりますが、お使いになる前に必ず試し張りを行い、付属品や設営手順を確認してください。万が一不具合があった場合は、お買い求めになった販売店または弊社ユーザーサービス係までお問い合わせください。

1. シームシーリング剤による目止め

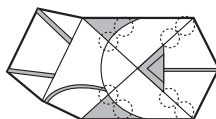
※本品にシームシーリング剤は付属していません。ご使用の際は、市販のシームシーリング剤をお買い求めください。縫製部分にはシームテープによる防水処理が施してありますが、フライシートのベンチレーター部やファスナー部分、ボトムシートの一部は、製造の都合上または構造上シームテープが施せない部分があります。通常の雨などは十分対応できますが、長時間の大雨や横なぐりの雨、地面に雨水が溜まっているような状態では、縫い目から雨水が侵入することがありますので必要に応じて縫い目にシームシーリング剤(目止め液)を塗布してください。シームシーリング剤は縫い目にそって表裏の両面からうすく塗布し、よく乾燥させてください。シームシーリング剤は時間とともに硬化してきます。剥離したときは塗布しなおしてください。また、当社ではシーリング作業サービスは行なっておりません。テントをより完璧な状態で使用するためにご協力をお願いいたします。



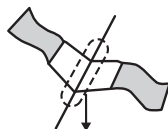
ボトムコーナー部すべてにシームシーリング剤を塗布してください。



後ベンチレーター部表と内側にシームシーリング剤を塗布してください。

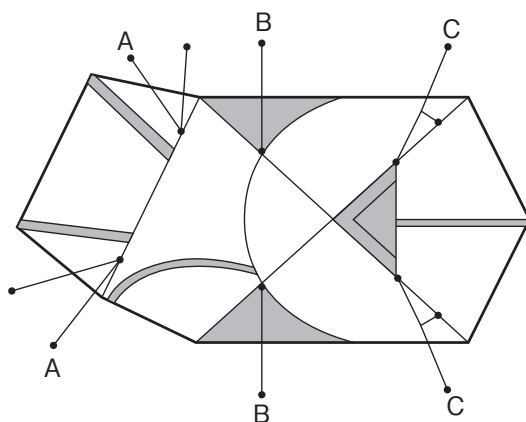


フライシート表側
ずれ防止ベルクロテープ部
丸印箇所。



フライシート裏側
ずれ防止ベルクロテープ部の
表と裏側にシームシーリング
剤を塗布してください。

2. フライシートへの張り網取り付け



- A. 2又5m×2
- B. 2.5m×2
- C. 1.4m×2

テント室内には小物を吊すループが付いています。1kgを超えない範囲でご使用ください。

設営の手順

0) 設営は必ず2人以上で行ってください。

1) テント本体を平らな場所に広げます。

※テント本体の出入口は2カ所あります。ビルディングテープのある側が前室となり、メインの出入口となります。あらかじめ風雨などの予測をし、前室の方向を決めておく必要があります。

※基本的に前室は風下に向けます。風上に向けると、風雨が侵入するばかりかドアを開けた際に突然風が入り、本体を破損する場合があります。

2) 3本の本体用フレームの内、先端が黄色の2本のフレームを伸ばし、接続部分をしっかりと連結します。

※フレームの連結部分にすき間ができないように、しっかりと差し込んでください。

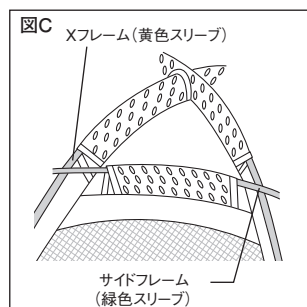
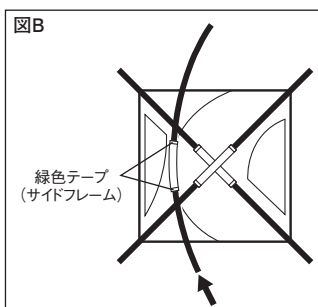
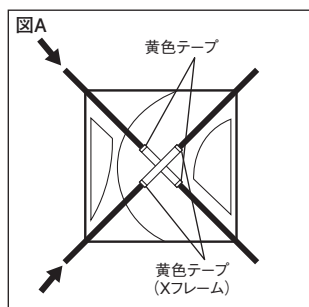
3) 2本のフレームを黄色の表示のあるスリーブに1本ずつ、ゆっくりと送り込みます。(以後Xフレーム) [図A]

4) 本体用のもう1本のフレーム(先端が緑色のフレーム、以後サイドフレーム)を伸ばし、接続部分をしっかりと連結します。

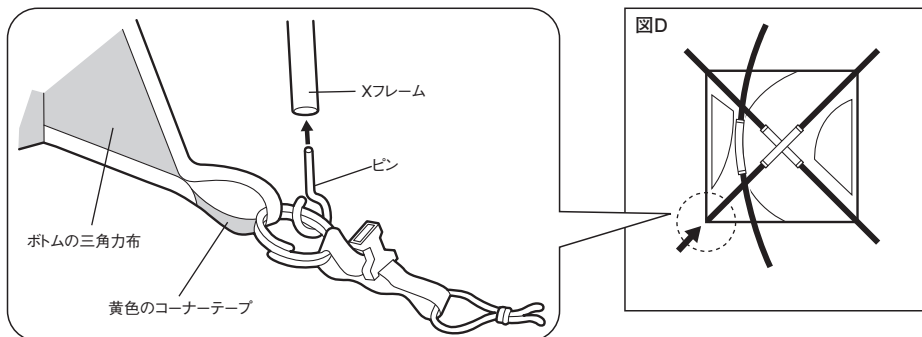
※フレームの連結部分にすき間ができないように、しっかりと差し込んでください。

5) サイドフレームを緑色の表示のあるスリーブにゆっくりと送り込みます。[図B]

※サイドフレームはXフレームの上を通してください。[図C]

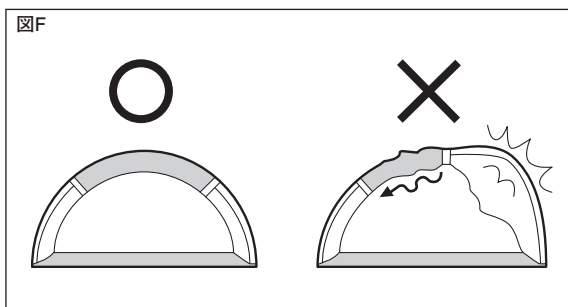
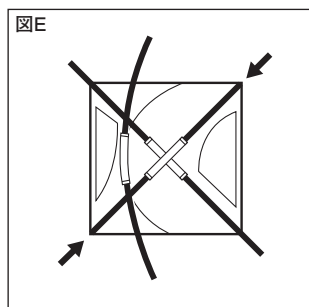


- 6) Xフレームの先端にピンを差し込みます。(Xフレームのコーナーテープは黄色です。)
〔図D〕



- 7) 差し込んだXフレームの反対側の先端にピンを差し込みます。〔図E〕

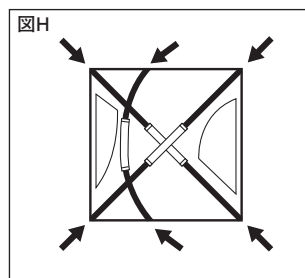
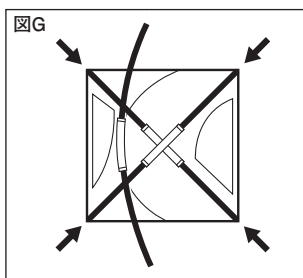
※スリーブの位置が中央になる様に本体を調節しながら、ゆっくりとフレームの端部にピンを差し込んでください。一方から強引に押し込むと反対側が大きく湾曲し、フレームの破損の原因になります。〔図F〕 反対側の人と声をかけ合いながら行なってください。



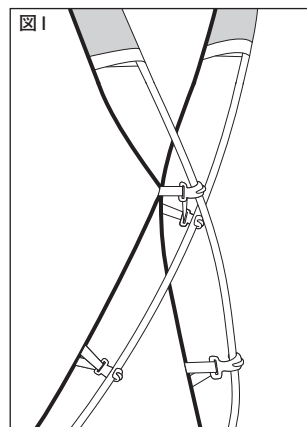
- 8) もう1本のXフレームも、同じ要領でピンを差し込み、テントを立ち上げます。〔図G〕

※ドアパネルやサイドパネルを半分位開けておくと空気が室内に入りうまく立ち上がります。

- 9) サイドフレーム両端をピンに差し込みます。(サイドフレームのコーナーテープは緑色です。)〔図H〕



10) 本体に付いているプラスチックフックを各々のフレームに引っ掛けます。〔図I〕



11) 前後のドアパネルのファスナーを全て閉めます。次に6カ所のコーナーテープ先端に付いているループにペグを通し、ボトムのたるみを取る様に番号順に軽く引き打ち込みます。〔図J〕

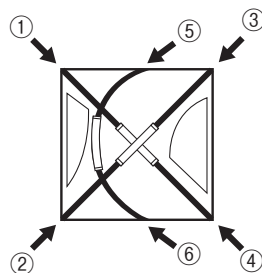
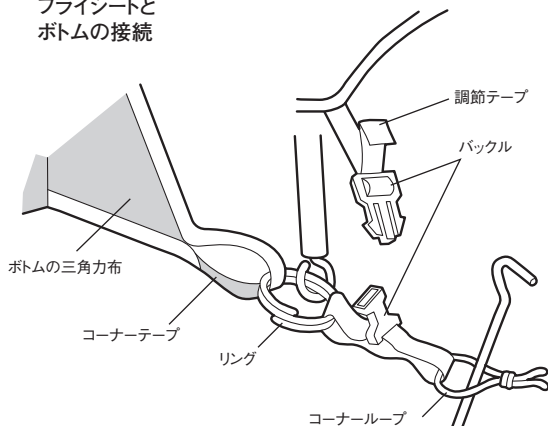
※ペグは最後まで打ち込んでください。

※ペグは無理に打ち込むと、曲がりや折れなどの破損につながります。少しずつ打ち込み、石などの障害物に当たった場合は場所を変えてから打ち込んでください。

※ファスナーを閉めずにペグダウンすると、ドアが閉められなくなることがあります。

図J

フライシートと
ボトムの接続

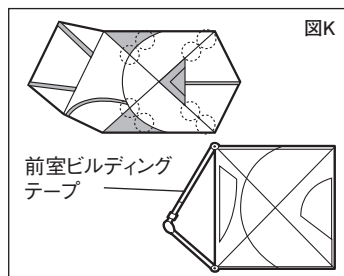


ボトムのたるみを取るように番号順に軽く引いてペグダウンする。

12) 前室・後室の方向を確認し、フライシートを被せます。〔図K〕

※フライシートの内側についている、ずれ防止のベルクロテープをフレームに巻き付けて固定します。ただし、テント撤収の際は、外し忘れにご注意ください。ベルクロテープが、フレームについてままフライシートを強く引っ張ると、ベルクロテープ破損の原因になります。

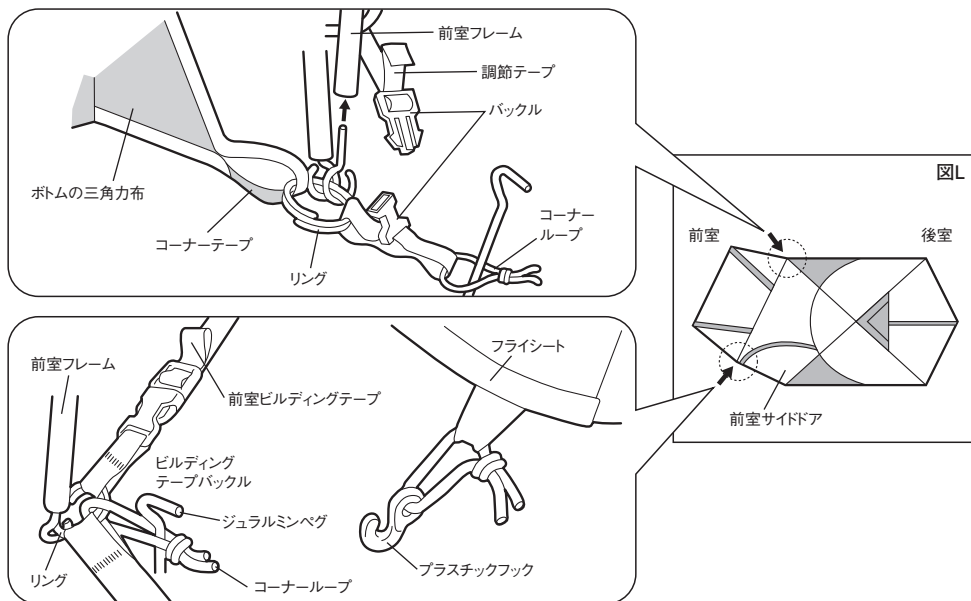
※前室ビルディングテープが接続されていることを確認してください。



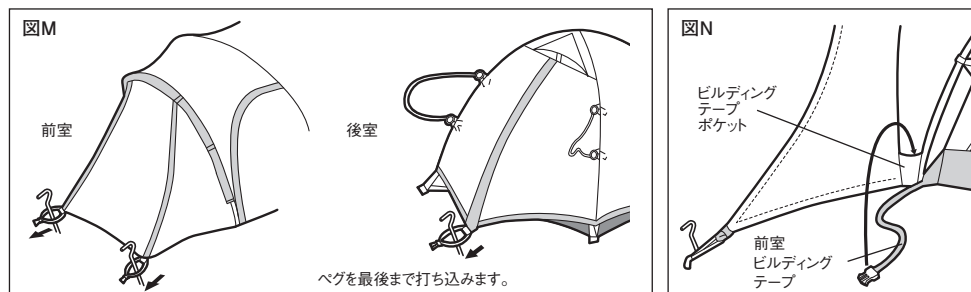
13) 前室フレームを伸ばし、接続部分をしっかりと連結します(1本)。

※フレームの連結部分にすき間があかないように、しっかりと差し込んでください。

- 14) フライシート前室のスリーブに前室フレームをゆっくりと送り込み、フレーム両端にピンを差し込みます。〔図L〕
- 15) フライシート裾の6個のバックルをボトム側のリングに付いているバックルに接続します。全てのバックルを接続した後フライシートの弛みをとる為に調節テープを引き、テンションをかけます。〔図J〕
- ※引きすぎにご注意ください。引きすぎますと、フライシートを破損する恐れがあります。

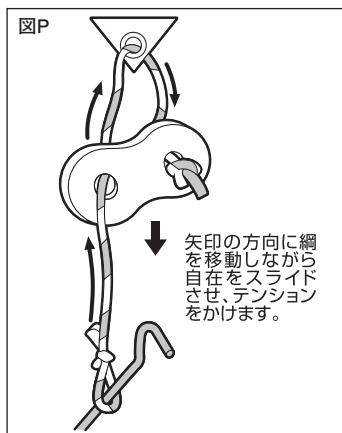
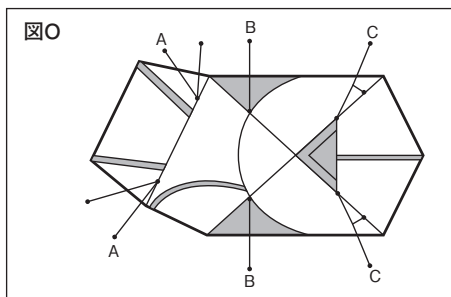


- 16) 前室サイドドアコーナーのプラスチックフックをリングにかけます。〔図L〕
- 17) 前室・後室の先端を引き、ゴムループにペグを通し、打ち込みます。〔図M〕
- ※引きすぎにご注意ください。引きすぎますと、ファスナーに負担がかかり破損する恐れがあります。
- 18) 全てのコーナーをペグダウンした後、前室ビルディングテープのバックルを外しテープをまとめてテープポケットに収納します。〔図N〕



- 19) 各張り網を伸ばし、ペグを打ち込みます。〔図O〕
- 20) 張り網の自在を引き、テンションをかけます。〔図P〕

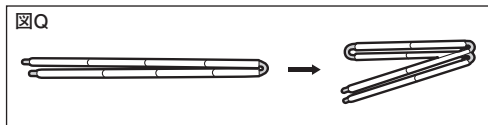
※ロープの引きすぎにご注意ください。引き過ぎますとフライシートに負担がかかり破損する恐れがあります。



■収納時の注意事項

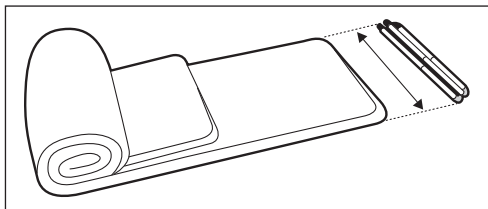
- ☐ 撤収の際はまず前室ビルディングテープを接続して、作業を始めてください。
- ☐ フレームをピンから外す時はフレームがハネ返り危険です。フレームが真っすぐになるまで手を離さないでください。
- ☐ サイドフレーム、Xフレームをピンから外す際は、プラスチックフックをつけたまま外してください。(全てのフレームをピンから外した後、プラスチックフックを外してください。)
- ☐ スリーブからフレームを取り出す際は、押して取り出してください。
※フレームを引いて取り出すと、スリーブの中で連結部が外れることがあります。必ず押して出してください。外れた連結部で生地を痛めることがあります。
- ☐ フレームは中央から端に向かって折り畳んでください。端から折り畳むとショックコードに負担がかかり伸びや切断の原因になります。伸びが発生した場合、フレームを押さえる力がなくなり、フレーム折れの原因となります。ショックコードのテンションは定期的に点検してください。

〔図Q〕



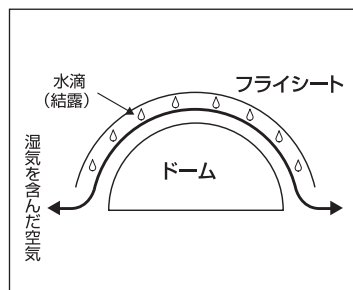
■ケースへの収納

- ① キャリーバッグの長さに合わせ、本体、フライシートを折り畳みキャリーバッグの中に入れます。
- ② フレームやベグはそれぞれ付属の専用ケースに入れ、キャリーバッグに収納してください。むきだしの状態で収納すると本体生地やキャリーバッグを損傷することがあります。



結露について

空気中に含まれている水分が急激に冷やされて霧状になったものが結露として現れます。特に狭いテント等の空間では、通常の室内よりも水蒸気の濃度が高くなり、結露の発生する確率が高くなります。原因としては、人体構成要素の約60%を占める水分が、呼吸や汗などにより放出され、水蒸気となりテント内に結露が発生します。テント内では、特にフライシート・ボトム部分などの防水性能が高い部分に結露が発生しやすくなります。結露は優れた透湿防水素材でも使用状況により完全に防ぐことは不可能です。ご使用中は結露軽減のために適時換気を行ってください。



撥水・防水性能について

- 本製品にはポリエステル生地を組合わせて使用しています。いずれの生地にも高性能の撥水加工を施していますが、生地の特性上、撥水性能(撥水の仕方や、耐久性)に若干の差が見られる場合があります。ご了承ください。
- 撥水加工は、ご使用を重ねますと撥水機能が低下します。撥水性が衰えてきたときは市販の撥水スプレーなどを使用してください。スプレーご使用の際は、スプレーの注意書きをよくお読みください。
- 防水性の高い生地を使用しておりますが、地面の水溜まりなどと長時間接触していると雨水が浸み、部分的に色が変わることがあります。

紫外線の影響について

- 本製品にはフライシートの生地にはUVカット加工を施しています。UVカット加工は、人体にとって有害な紫外線の透過を抑えると共に、生地の強度劣化を緩和します。
※UVカット加工は、紫外線による人体への影響や、素材劣化を防止するものではありません。
- テント素材は長時間日光にさらされた場合、退色や生地劣化などの強度低下を起こしますので、常設用として使用しないでください。
- 紫外線の影響と思われる素材の劣化により、耐久度合を超えたものは修理できない場合があります。

メンテナンス・保管

- 本製品にはポリエステル生地を組み合わせて使用しています。生地の特性を考慮し、できる限り色移りし難い加工と配色パターンを採用していますが、保管状態などにより、若干の色移りが発生する場合があります。ご了承ください。また、濡れたままの保管は避けてください。
- 濡れたまま保管すると、カビや異臭、生地の色うつり、生地の劣化などのトラブルの原因となりますので、使用後は風通しの良い日陰で十分に乾燥し、柔らかなブラシなどで汚れを落としてから保管してください。
※フレームを通した状態で逆さまにしないでください。フレーム折損や生地損傷の原因になります。
- フレームは表面の汚れを落とし、十分に乾燥させてから保管してください。濡れたまま保管すると腐食、強度が低下します。
ジョイント部分は常に清潔にし、少量のシリコン系潤滑剤を薄く塗布してください。塗布し過ぎると生地に油ジミができますのでご注意ください。
またフレーム内部のショックコードは不必要に引っ張らないでください。
- 高温多湿を避け、直射日光の当たらない風通しのよい場所に保管してください。
- ファスナーに泥や砂、ホコリなどが付着したまま使用すると摩耗し破損の原因になりますので、ブラシなどを常に清潔にしてください。また、スライダーの動きを滑らかにするために、少量のシリコン系潤滑剤を定期的に塗布してください。塗布し過ぎると生地に油ジミができますのでご注意ください。
- 小さな生地の破損は市販のリペアテープで補修できます。補修の際はリペアテープの説明書を良くお読みください。
- ご使用により広範囲にわたり素材が劣化し、耐久度合を超えたものは修理できない場合があります。
- 次回の使用に備え、ベグなどの付属品も含め、十分に保守、点検をしてください。

こんなときは

Q:キャンプ場でフレームが折れてしまったとき

A:応急処置として速やかに付属のリペアパイプや添え木をあて、ビニールテープなどで固定するか、撤収してください。

Q:キャンプ場で本体生地が破れてしまったり、穴があいてしまったとき

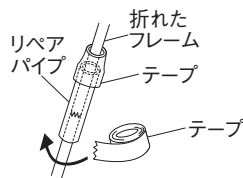
A:傷が広がらない為に、速やかにガムテープなどで両面から貼り合わせるか、市販のリペアキットなどで補修してください。市販のリペアキットご使用の際は、リペアキットの注意書きをよくお読みください。

Q:撥水が衰えてきたとき

A:撥水加工は、ご使用を重ねますと撥水機能が低下します。撥水が低下してきた場所に撥水スプレーなどを使用してください。スプレーご使用の際は、スプレーの注意書きをよくお読みください。

Q:生地にカビが発生したとき

A:カビの発生箇所を乾拭きし、アルコールで滅菌処理してください。カビにより生地が着色された場合、取り除くことはできません。無理な除去作業は生地やコーティング劣化の原因となりますのでお避けください。



品質保証について

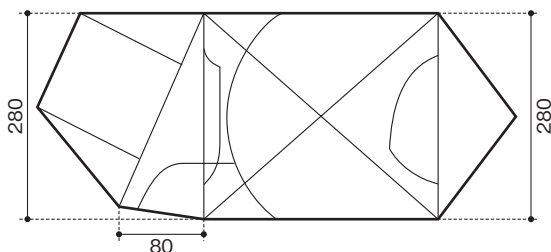
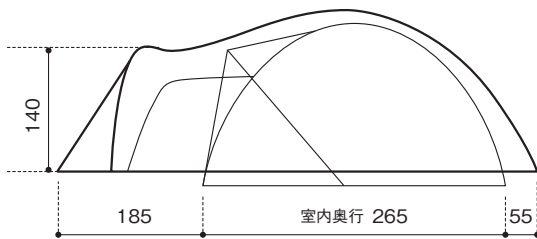
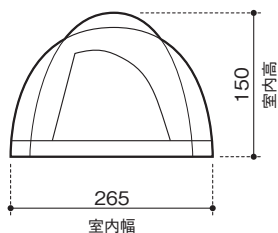
お買い求めいただきました製品は万全を期していますが、万一不備な点がございましたら、お買い求めいただいた販売店様もしくは弊社または各製品に記載された連絡先にご相談ください。製造上の欠陥が原因の場合は無償で修理または交換させていただきます。その他の場合は適切な価格で修理させていただきます。修理、交換の判断は弊社の裁量によるものとさせていただきます。また、以下の場合は修理できない場合もありますので予めご了承ください。

1. 素材の経年劣化による損害など商品の寿命
2. 改造および粗雑な取扱いによる故障
3. 取扱説明書で禁止されている取扱いによる故障
4. 不測の事故による商品の故障
5. その他製造上の欠陥以外による製品の故障
6. ゴミやさびによる故障
7. 分解したことによる不具合の発生または破損
8. 落下やその他の衝撃による部品の変形や破損による不具合
9. 摩擦によるパーツの変化及びそれによる故障
10. 他社製品との組み合わせによる故障

修理について

- 本格的な修理が必要な場合は、お買い求めになった販売店様または弊社ユーザーサービスまでお問い合わせください。
- 修理を依頼される場合は、必ず十分に乾燥させ、汚れをきれいに落としてください。
- 修理品には修理箇所がはっきりと解るように、必ずメモまたは荷札を付けてください。また破損時の状況をできるだけ詳しく書いたメモを添えてください。
- 修理品の運賃並びに修理費については以下のように規定させていただきます。
 1. 保証対象の場合:往復運賃並びに修理費は弊社にて負担いたします。
 2. 保証対象以外の場合:往復運賃並びに修理費は、お客様のご負担とさせていただきます。

単位はcm



スペック

SDE-001RH アメニティドームM

- 材質：フライシート／75Dポリエステルタフタ・PUコーティング耐水圧1,800mmミニマム・テフロン撥水加工・UVカット加工、インナーウォール／68Dポリエステルタフタ、ボトム／210Dポリエステルオックス・PUコーティング耐水圧1,800mmミニマム、フレーム／ジュラルミンA7001+A6061（φ12.8mm+φ12mm・前室φ11.8mm+φ12mm）
- セット内容：テント本体、本体フレーム長（×3）、前室フレーム（×1）、ジュラルミンペグ（17cm×18）、自在付ロープ（1.4m×2、2.5m×2、2又5m×2）、リペアパイプ、キャリーバッグ、フレームケース、ペグケース、取扱説明書
- キャリーバッグサイズ：74×22×25（h）cm
- 重量：8kg（フレーム・ペグ・ロープ含む）

不明な点やお気付きの点がございましたら、販売店様または弊社ユーザーサービスまでお問い合わせください。

スノーピークユーザーサービス
☎0120-010-660（9:00～17:00）
Email: userservice@snowpeak.co.jp

株式会社スノーピーク
〒955-0147 新潟県三条市中野原456
Tel. 0256-46-5858 / Fax. 0256-46-5860
www.snowpeak.co.jp

MADE IN VIETNAM

Instruction Manual : Ver 2.00

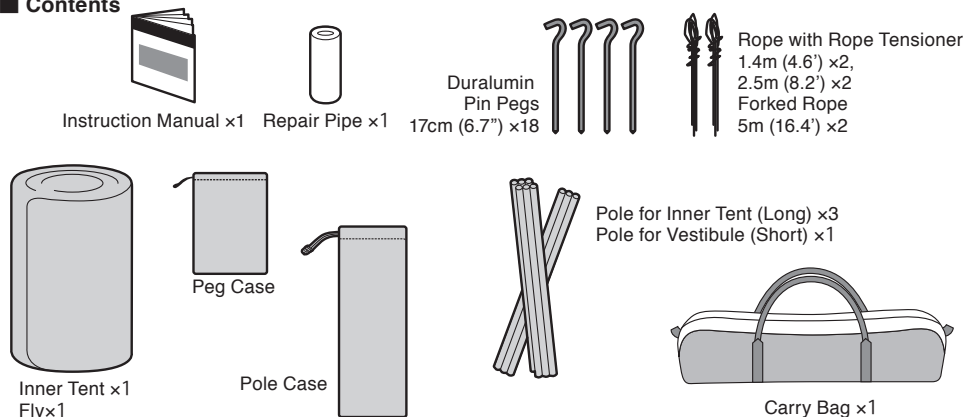
SDE-001RH

Amenity Dome Medium



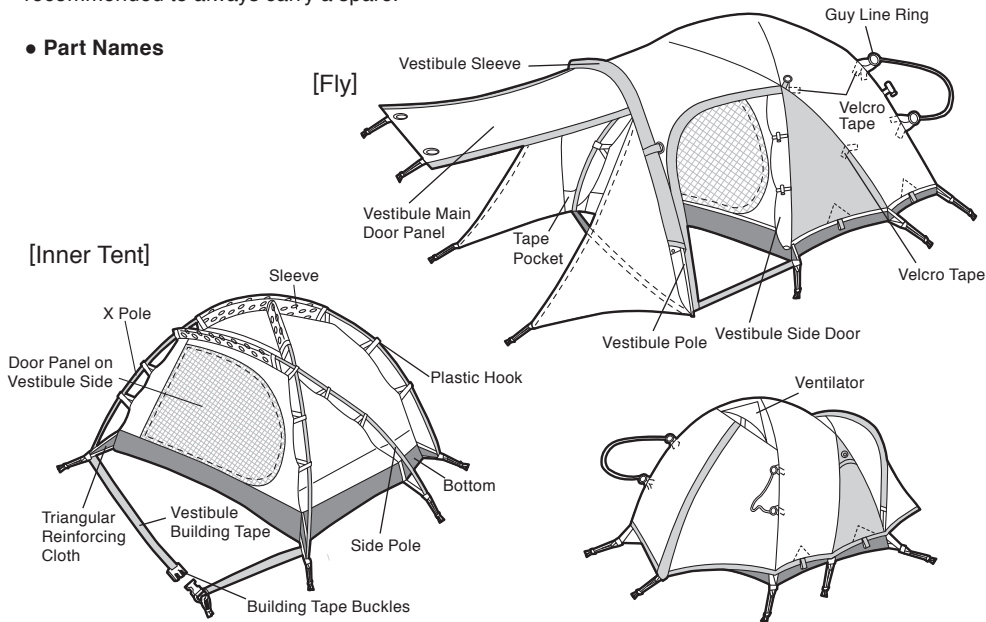
Thank you for purchasing a Snow Peak product. This product is a tent for camping. For safety, read the following instruction manual before use. Please keep it safe for future reference. Finally, if you find anything that you do not understand in the description or any problems with the product, please stop use immediately and contact the retailer or Snow Peak Customer Service.

■ Contents



The set contents are based on setup in general conditions. If you bring sturdy and long pegs and ropes, you can adjust to various weather conditions. Pegs and ropes are essential items, so it is recommended to always carry a spare.

● Part Names



*If the Vestibule Door Panel is to be kept open, additional Poles, Ropes and Pegs are required.

Before use: please read thoroughly to ensure safety and to avoid accidents.



DANGER Misuse could easily result in a serious accident or death.



WARNING Misuse could result in serious injury to the user.



CAUTION Misuse could result in injury to the user and/or damage to property.

Important Information



DANGER Misuse could easily result in a serious accident or death.

- Do not use combustion-based heat sources such as lanterns, stoves or heaters, or open flames such as matches, candles, lighters or cigarettes, inside the tent. The use of such heat or light sources inside a small enclosed space is very dangerous and may result in fire, oxygen deficiency or carbon monoxide poisoning.
- Do not keep fuel, or flammable items for replenishing the fuel, inside the tent.



WARNING Misuse could result in serious injury to the user.

- Before using the product, check each part for abnormalities. If there are abnormalities, take the product to the dealer or Snow Peak Customer Service for inspection or repair.
- Pay close attention to the weather. If extreme weather is in the forecast, pack up camp and evacuate to a safe place.
- Do not bring heated items into the tent when they are at high temperatures. Inside the tent, very high temperatures may cause heatstroke. Pay close attention to the temperature, particularly when children are asleep inside the tent.
- Choose a flat, well-drained area with firm ground to pitch the tent. Choose an area where there is no chance of avalanches, landslides, wind gusts or sudden flooding.



CAUTION Misuse could result in injury to the user and/or damage to property.

- This product is not intended to be in permanent use.
- Sunlight can cause the surface of the Fly to heat up, potentially causing low-temperature burns.
- Do not assemble or use the tent close to a bonfire, fireworks, etc. Flying sparks can create holes in the tent fabric.
- Firmly hold the tent pole when assembling and disassembling the tent. Unexpected accidents may occur due to the Pole ends recoiling, etc, so ensure that the surroundings are safe, with no other people in the vicinity.
- Firmly secure the Pegs, Guy Lines, etc.
- If the tent is left in the sun for long periods, the materials may fade in color or the fabric may deteriorate and lose strength. Do not leave the tent set up permanently.

Preparations Before Use

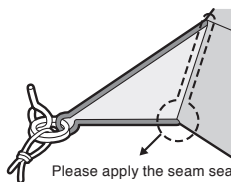
First Time Use

We have thoroughly checked this product for quality, however, please do a trial set up before actual use to ensure full understanding of the correct usage of the accessories and instructions. If any defects are found, please contact the dealer where the product was purchased or Snow Peak Customer Service.

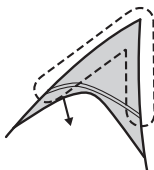
1. Sealing with Seam Sealer

*Seam sealer is not included in this product. When using, please purchase seam sealant from local outdoor gear retailer.

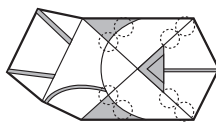
A waterproofing treatment with seam taping has been applied to the stitching of the tent. However, the ventilator and fasteners on the Fly and a part of the bottom sheet cannot be treated with the seam tape due to their inherent design. Though capable during periods of normal rain, long spells of heavy or driving rain, or prolonged contact with water pools on the ground, may result in the penetration of water along the stitching. In such cases, the application of a seam sealer is recommended. Apply the seam sealer lightly on both sides along the stitching and dry completely. The seam sealer will cure with time. As the seam sealer wears off, re-apply as necessary. We do not provide a sealing service. However, to maintain the tent in its best condition, application of seam sealer by the user is highly recommended.



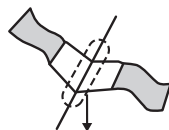
Please apply the seam sealer over the whole area of the bottom corner of the Inner Tent.



Please apply the seam sealer to the outside and inside surface of the back ventilator.

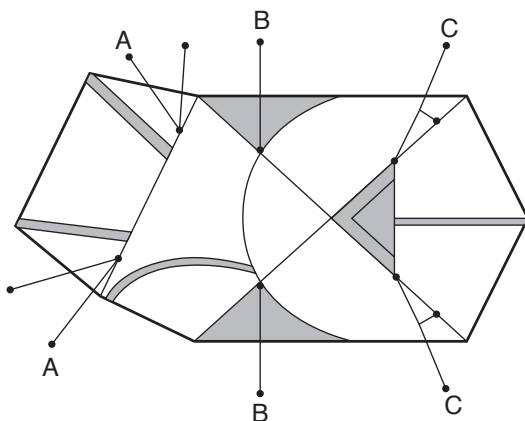


Apply the seam sealer to the eight places marked with a circle on the Velcro Tape used to attach the Fly to the surface.



Please apply the seam sealer on both surfaces of the Velcro Tape, on the backside of Fly.

2. How to attach the tensioning Guy Lines onto the Fly



- A. Forked Ropes 5m (16.4') x2
- B. 2.5m (8.2') x2
- C. 1.4m (4.6') x2

There are loops on the roof of the tent for hanging small items. Each loop can bear up to 1kg (2.2 lbs) in weight.

Set-up Procedure

0) Make sure that two or more people take part in the set-up.

1) Spread the Inner Tent on a flat area.

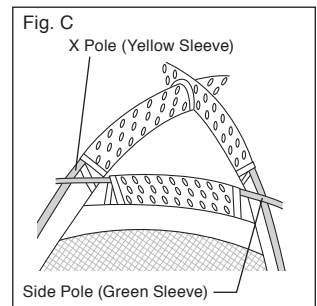
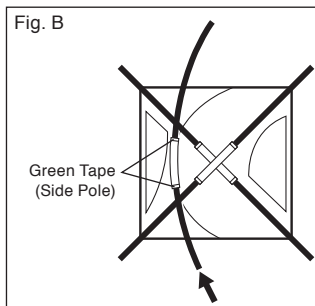
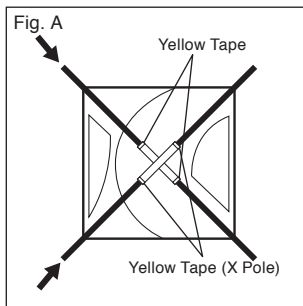
There are two entrances to the Inner Tent; the side that has the Building Tape is the Vestibule side and will become the main entrance. It is necessary to decide the location of the Vestibule according to the predicted direction of the wind and rain. Typically, the Vestibule should face downwind. If the Vestibule faces windward, not only will wind and rain blow into the main entrance, but sudden and strong gusts may cause damage to the tent when opening the door.

2) There are three Inner Tent Poles. Extend the two Poles with the yellow ends and connect them firmly. Make sure to connect them without leaving gaps at the joints.

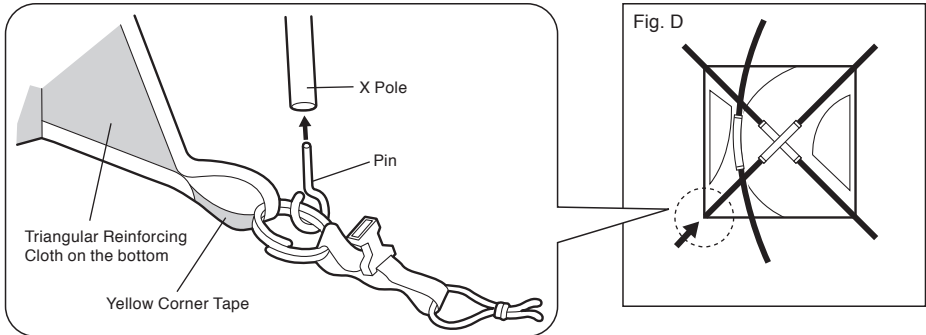
3) Slowly and one-by-one, insert the two yellow-ended Poles through the sleeves with the yellow marks. (Hereafter this is called the 'X'.) (fig. A)

4) Extend the remaining Pole for the Inner Tent (hereafter called the 'Side Pole') and connect firmly.

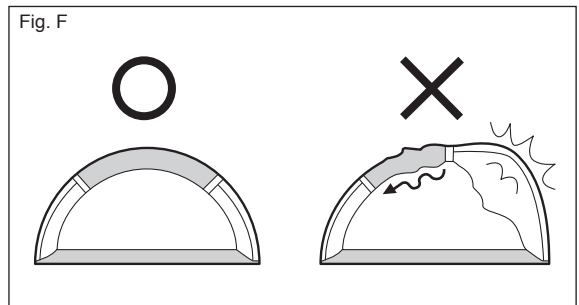
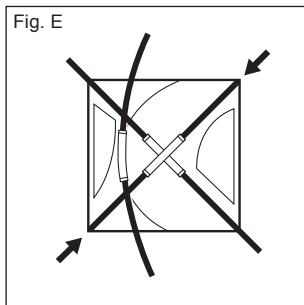
5) Insert the Side Pole slowly into the sleeve with the green mark (fig. B).
The Side Pole should go over the X Pole (fig. C).



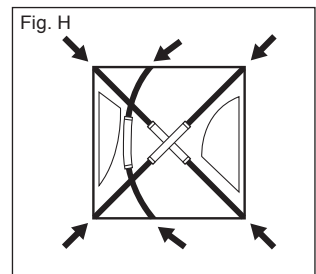
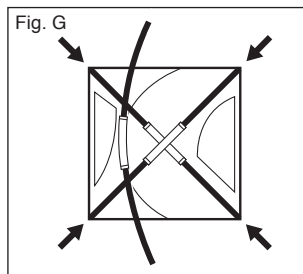
- 6) Insert a pin into one end of the X Pole (the corner tape for the X Pole is yellow) (fig. D).



- 7) Insert the additional pin to the other end of the X Pole, which is located diagonally opposite the first end (fig. E). Insert the pin slowly into the X Pole end while adjusting so the sleeve is positioned in the center. If the pin is inserted with too much force from one side, the other side may curve widely and cause damage to the X Pole (fig. F). Communicate with your set up partner during this procedure.

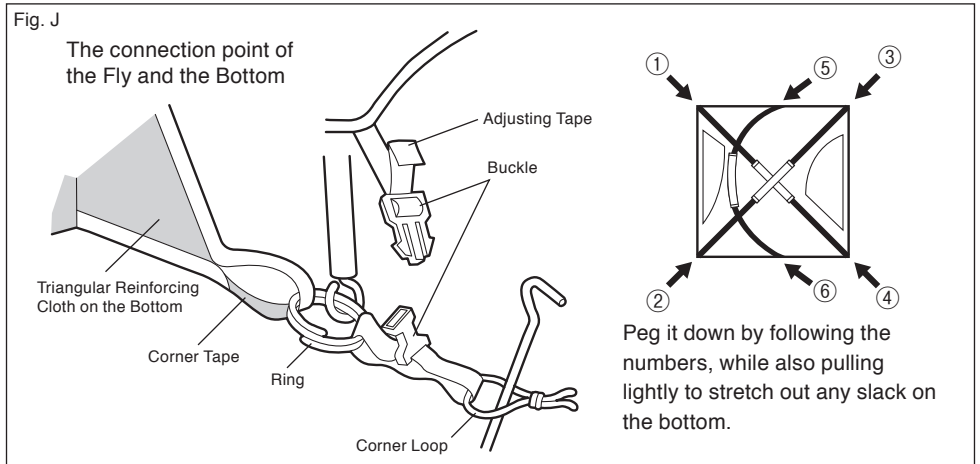
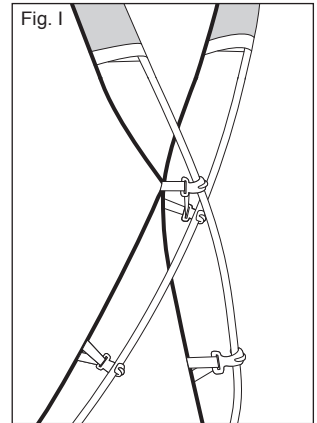


- 8) Repeat the procedure above on the other end of the X Pole and lift the tent (fig. G). Keep the Door Panel and Side Panel half-open so that air can enter the room and aid in the lifting of the tent.



- 9) Insert the pins into both ends of the Side Pole (corner tape for the Side Pole is green) (fig. H).

- 10) Attach all the Plastic Hooks to the corresponding Poles (fig. I).
- 11) Close both door panels, front and back. Insert the pegs into the loops at the six ends of each the corner. Peg down the Inner Tent by following the numbers, and by pulling lightly to stretch out any slack at the bottom of the tent (fig. J).
 - *Peg the tent down all the way, but do not use undue force that may bend or break the pegs.
 - *Hammer gently, and if you find any obstacles such as stones, change the entrance point of the peg as needed.
 - *The door may not close later if it is open when pegging down.



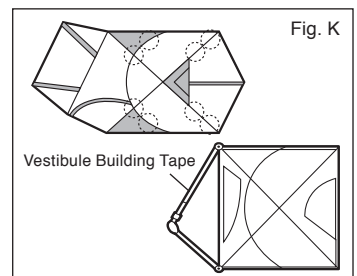
- 12) Check the direction of the Vestibule and Back Room and lay the Fly in place (fig. K).

*Velcro Tape is attached to the inside of the Fly (at the cross-section of the Pole and the Guy Line Reinforcing Cloth) to keep the Fly in place. Wind the Velcro Tape around the Pole to secure it. When taking down the tent, make sure to remove the Velcro Tape. If the Fly is forcefully pulled while the Velcro Tape is still wound on the Pole, the Velcro Tape may be damaged.

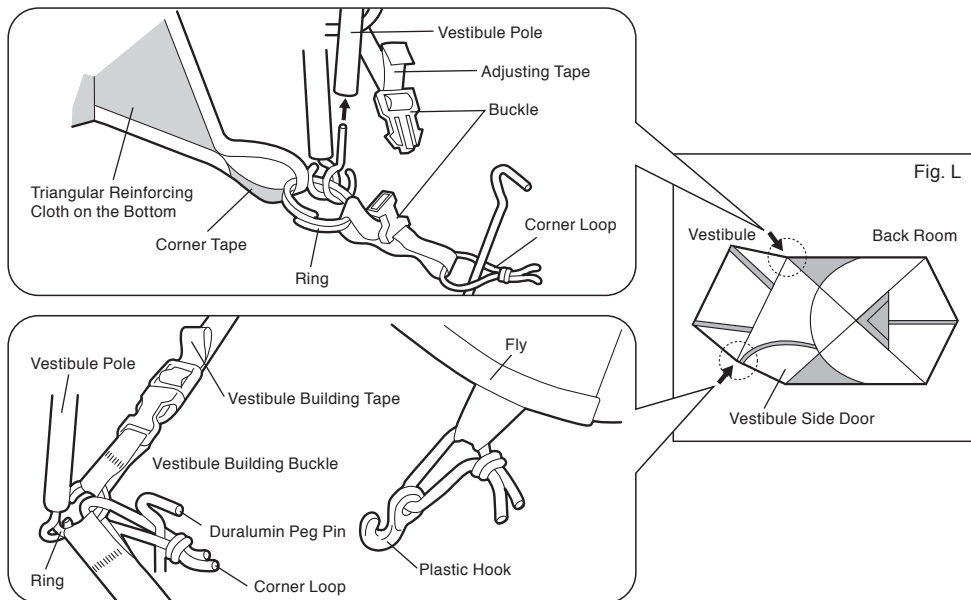
*Ensure the Vestibule Building Tape is connected.

- 13) Extend the Vestibule Pole and connect firmly (1 pcs).

*Make sure to connect firmly without leaving a gap at the joint.

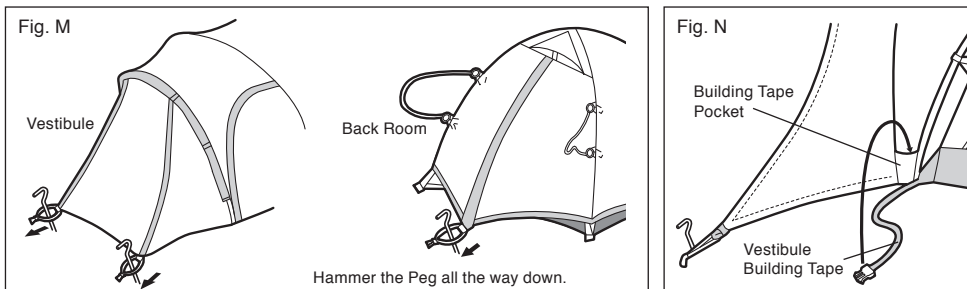


- 14) Slowly insert the Vestibule Pole into the sleeve of the Vestibule Fly, then insert the pins into both ends of the Pole (fig. L).
 - 15) Connect the six Buckles on the edge of the Fly to the Buckles on the Bottom Rings. After connecting all of the Buckles, pull the Adjusting Tape to apply tension and unruffle the Fly (fig. J).
- *Do not pull the tape too much: excessive pulling may cause damage to the Fly.



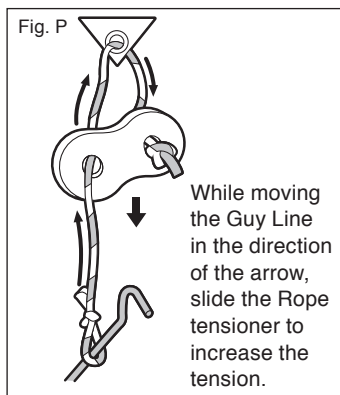
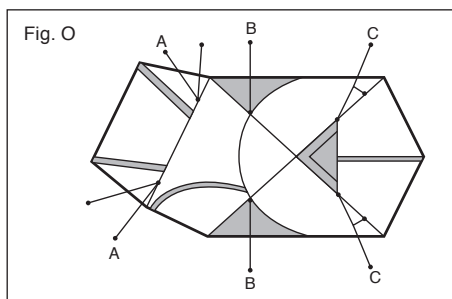
- 16) Attach the Plastic Hook on the corner of the Vestibule Side Door to the Ring (fig. L).
 - 17) Pull the edges of the Vestibule and Back Room and then insert the Pegs through the rubber Corner Loops and hammer down (fig. M).
- *Do not pull the edges too much, excessive pulling may overload the fastener and cause damage.

- 18) After pegging down all the corners, disconnect the Buckle of the Vestibule Building Tape and store it in the Building Tape Pocket (fig. N).



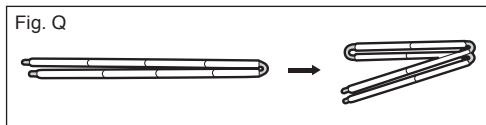
- 19) Stretch each tensioning Guy Line and peg it down (fig. O).
- 20) Pull the Rope tensioner on the Guy Lines to increase the tension (fig. P).

*Do not pull the rope too much. If pulled too far, the Fly may be overloaded or damaged.



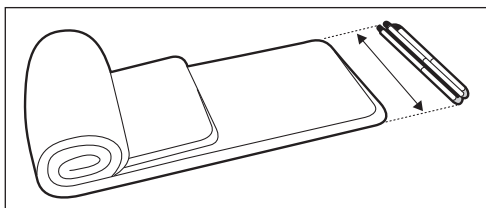
■ Precautions for Storage

- ☐ When taking the tent down, begin by connecting the Vestibule Building Tape.
- ☐ When removing the Pole from the pins, the Pole may recoil. Use your hands to keep the Pole steady until it straightens.
- ☐ When removing the Side Pole and the X Pole from the pins, leave the Plastic Hooks in place. (Remove the Plastic Hooks only after all the Poles have been removed from the pins.)
- ☐ When removing the Pole from the sleeve, push it out: if the Pole is pulled out then it may become disconnected inside the sleeve. The disconnection of the Pole inside the sleeve may cause damage to the cloth.
- ☐ Fold the Pole from the center to the edges. If folded from the edge, the cord can be overstretched, which may cause elongation or breakage. If elongation occurs, the cord will lose the power to hold the Pole in place, potentially causing the Pole to break. Check the tension of the cord regularly (fig. Q).



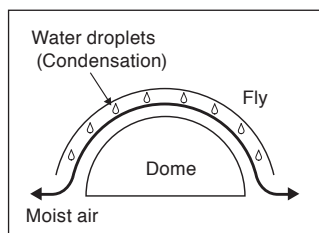
■ How to store the Tent in the Carry Bag

- ① Fold the Inner Tent and the Fly according to the length of the Carry Bag and place them inside it.
- ② Store the Poles and the pegs in their cases, then place the cases in the Carry Bag. If you store the Poles and Pegs without putting them in the case, it may damage the products or Carry Bag.



Regarding Condensation

Mist is a collection of water droplets suspended in the air that turns into condensation in rapidly falling temperatures. In smaller spaces such as the inside of a tent, the concentration of water vapor is higher than in an ordinary room and frequently results in more condensation. Additionally, water accounts for 60 percent of the human body and is released through breathing and perspiration. This also causes the amount of water vapor in the tent to increase, resulting in more condensation. Inside the tent, condensation can commonly be found on materials that have are highly waterproof, such as the Fly or the Bottom Sheet. Depending on the surrounding conditions, it may be impossible to avoid condensation completely, even with the use of waterproof materials. To reduce condensation, it is recommended that you allow steady ventilation while the tent is in use.



Water-Repellent and Waterproof Functions

- A combination of Polyester fabric is used in this product. Both materials are treated with a high-quality, water-repellent finish. However, the level of water-repellent capacity and durability may vary slightly due to the characteristics of each material.
- The water-repellent finish will lose effectiveness after repeated use. When the water repellence decreases, please use a water-repellent spray purchased from your local outdoor gear retailer. When using such sprays, please follow the product's instructions.
- Materials with high waterproof capacity are used in this product. However, if the materials are in contact with pools of water on the ground for long periods, the water may be absorbed into the material, potentially resulting in discoloration.

Regarding the Effect of Ultraviolet Rays

- A UV protection treatment has been applied to the Fly material. The UV protection treatment will lessen the permeation of ultraviolet rays, which are harmful to humans, and also slow the deterioration of the Fly.
*The UV protection treatment does not completely shield humans from ultraviolet rays or stop the deterioration of the material's strength.
- When the tent material is exposed to sunlight for long periods, color degradation or strength deterioration may occur. Do not leave the product assembled permanently.
- If the material deteriorates due to ultraviolet rays and is badly damaged, it may become irreparable.

Maintenance & Storage

- A combination of Polyester fabric is used for this product. Taking the material characteristics into consideration, we adopted processing and color patterns that will result in less color migration. However, depending on storage conditions, slight color migration may occur. Do not store the product while it is wet.
- Before storage, the product should be cleaned and dried sufficiently. If the product is stored when wet, the build-up of mold, bad odors, color migration and material deterioration will occur. Dry the product sufficiently in a breezy and shaded area and clean the surface with a soft brush before storing.
*Do not flip the tent over with Poles still in the sleeves, as Pole breakage and cloth damage may occur.
- Clean and dry the surface of the Poles before storing. If stored when wet, corrosion may occur, resulting in strength deterioration. Keep the joints clean and apply a small amount of silicone lubricant; applying an excessive amount of lubricant will stain the cloth. Ensure that the cords inside the Poles are not pulled unnecessarily.
- Store the product in a well-ventilated area, away from heat and moisture.
- Using the zipper when it is covered with mud, sand or dust may cause wear or damage. Clean the zipper with a brush before use. Apply small amounts of silicone lubricant to the zipper regularly to allow for smooth movement. Do not apply excessive amounts of lubricant as it will leave stains on the cloth.
- Slight damage to the cloth can be mended with repair tape that can be purchased from your local outdoor gear retailer. Refer to the product instructions for the correct use of such repair tape.
- Depending on the conditions during use, the tent material may deteriorate over a wide area, losing its durability and becoming irreparable.
- To maximize the longevity of this product, regularly check and maintain the product (including all accessories such as the pegs).

FAQ

Q: What can be done if the Pole is broken while the tent is in use?

A: For emergency treatment, use a repair pipe or splint, and fix with vinyl tape. Or disassemble the tent for repair.

Q: What can be done if the Inner Tent cloth is damaged or rips while the tent is in use?

A: Seal the area with packing tape on both sides or use a tent repair kit that can be purchased at your local outdoor gear retailer. When using a repair kit, read the instructions carefully.

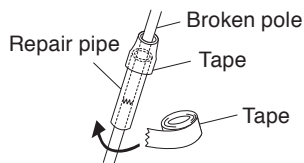
Q: What can be done when the water-repellent finish degrades?

A: The water-repellent finish will lose its effectiveness with repeated use.

When the material's water repellence decreases, please use a water-repellent spray that can be purchased at your local outdoor gear retailer. When using such sprays, please follow the product's instructions.

Q: What can be done if mold develops on the tent material?

A: Wipe the affected area with a dry cloth and sterilize with alcohol. When the material has a color change due to mold, this color change cannot be removed. Removing mold with excessive force may result in further deterioration of the material and the coating finish.



Warranty

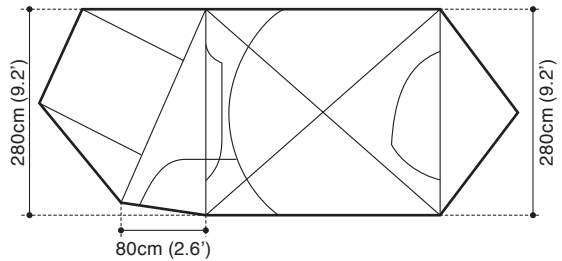
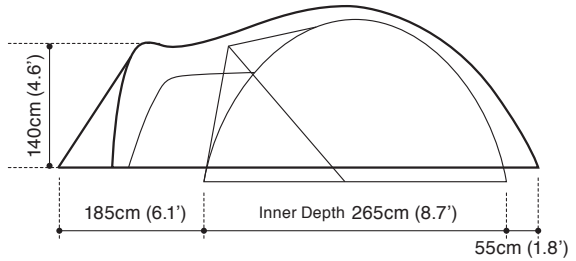
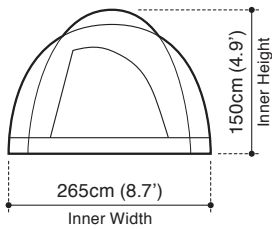
Snow Peak has taken all possible measures to ensure every product is durable and functions correctly. If you find any product defects, please contact the retailer where you purchased the product or Snow Peak Customer Service. If there are apparent defects in the product's manufacturing, the defective product will be repaired or exchanged free of charge. In other cases, Snow Peak will repair the product for an appropriate fee. The decision to repair or replace the product will be at our discretion. Snow Peak will not repair the product for any damage that occurred due to the following:

1. Material deterioration caused by age.
2. Damage caused by modifications or rough handling.
3. Damage caused by inappropriate use not mentioned in the instruction manual.
4. Damage caused by unexpected accidents.
5. Any damage other than defects in the manufacturing process.
6. Damage caused by dust or rust.
7. Damage and defects caused by dismantling the product.
8. Damage and defects caused by dropping, jolting or other shocks.
9. Deterioration or failure of parts due to friction.
10. Damage caused by the use of the product in combination with another manufacturer's products.

Repair

- If professional repairs are required, please contact the retailer where you purchased the product or Snow Peak Customer Service.
- When you request repairs, please make sure that the product is dry and clean.
- Please attach a memo or a tag indicating the necessary repair and please write details of how and when the damage occurred.
- Transportation and repair costs are determined as follows.
 1. Within warranty: The transportation cost (both ways) and repair cost will be covered by Snow Peak.
 2. Outside warranty: The transportation cost (both ways) and repair cost will be covered by the customer.

The unit is in cm (feet)



Specifications

SDE-001RH Amenity Dome Medium

- Material: Fly / 75D Polyester Taffeta, PU coating, Waterproof rating: 1,800mm minimum, Teflon water-repellent finish, UV protection treatment; Inner Wall / 68D Polyester Taffeta; Bottom / 210D Polyester Oxford • PU coating, Waterproof rating: 1,800mm minimum; Pole / Duralumin A7001+A6061 dia 12.8mm (0.5") + dia 12mm(0.5")/ Vestibule pole dia 11.8mm(0.46") +dia12mm(0.5")
- Contents: Tent; Tent Pole Long (x3); Vestibule Pole (x1); Duralumin Pin Peg 17cm (6.7") x18; Rope with rope tensioner 1.4m (4.6') x2 2.5m (8.2') x2 Forked Rope 5m (16.4') x2, Repair Pipe; Carry Bag; Pole Case; Peg Case; Instruction Manual
- Carry Bag size: 74x22x25(h)cm (29" x8.5" x9")
- Weight: 8kg (17.6lb) (Poles, Pegs and Ropes included)

Snow Peak USA, Inc.

404 NW 23rd Avenue, Portland, Oregon 97210, USA
Tel. +1 503-461-0781 / Instagram. @snowpeakusa
Email. info@snowpeak.com / www.snowpeak.com

Snow Peak, Inc.

456, Nakanohara, Sanjo-Shi, Niigata 955-0147 Japan
Tel. +81 256-46-5858 / Fax. +81 256-46-5860
www.snowpeak.co.jp

MADE IN VIETNAM